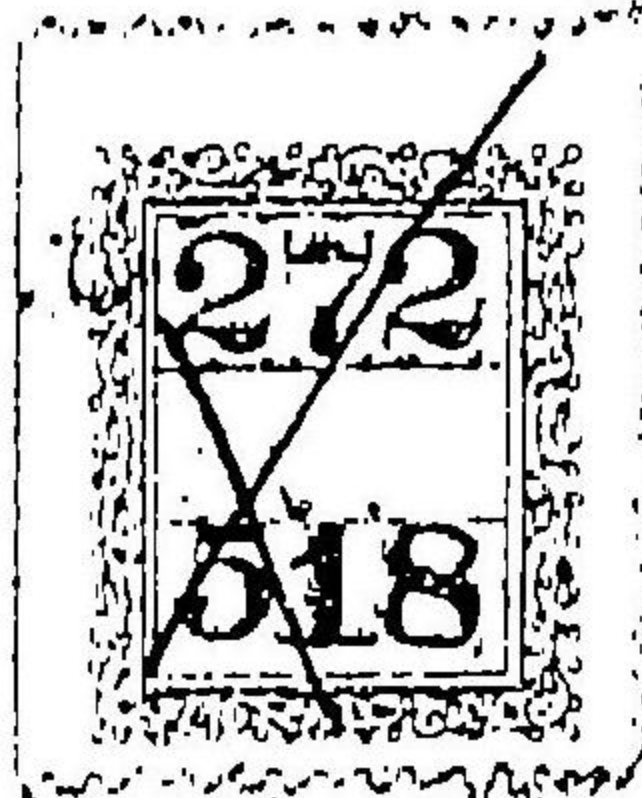


特 71

957

指定採種田擔當人心得

新潟縣農事試驗場



301500-001-5

特 71-957

新潟縣農事試驗場指定採種田擔當人心得

M45.3

CCA-0001



特71
957

目次

插秧	追肥	本田ノ肥料	採種地ノ撰定	苗代ノ管理	苗代	浸種	浸種	原種ノ貯藏	原種ノ配付
----	----	-------	--------	-------	----	----	----	-------	-------

五 四 四 三 三 二 二 一 一 一

丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁 丁

大正
2. 3. 15

澁	排	水	五
除	草	五	丁
混	穉	拔	五
病	虫	害	六
刈	取	製	六
調	製	取	六
原種	特性	表	七
原種	特性	表	七
原種	育成	規程	八
採種	田	規程	十

五五五
丁丁丁
六六六
丁丁丁
七七七
丁丁丁
八八八
丁丁丁
十

新潟縣農事試驗場指定採種田擔當人心得

一、原種ノ配付

原種ハ混種ヲ避クル爲メ包裝スル繩色ヲ異ニス即チ高田早稻ハ青色、石白ハ白色(繩ノ地色) 中生高宮ハ赤色、二本三ハ黒色トシ、本場ニ於テ各擔當人別ニ包裝シ、之ヲ合装シテ品種別ニ期日ヲ異ニシ毎年一月ヨリ二月ノ間ニ郡農會宛發送ス、郡農會ニ於テモ前記ノ注意ヲ以テ直接擔當人ニ配付スルモノトス

二、原種ノ貯藏

原種ハ浸種期タル四月マデ貯藏セザルベカラズ之ノ期間ハ鼠害其他ノ被害ヲ防グハ勿論、他種類トハ絶對ニ混合ヲ避ケ、水濕ヲ絶チ温度ノ激變アル場所ニ置クベカラズ

三、浸種

原種ハ凡テ比重一、二三ノ鹽水ヲ以テ選種スベシ、鹽水選ヲ行フ場合ハ瓮、桶、其他ノ器具ヲ検査シ一粒タリトモ他種類ノ種子ヲ除去スベシ、又全時ニ自作用種子ノ選種ヲナス場合ニハ原種ノ選種ヲ先ニスベシ

四、浸種

鹽水選シタル種粒ハ新タラシキ俵ニ入レ清潔ナル流水ニ浸スベシ、若シ桶浸シノ場合ハ水ノ腐敗セザル様屢々水ヲ交換スルヲ要ス、浸種日數ハ五日乃至七日トス

五、苗代

苗代ノ位置ハ日陽温暖ニシテ灌排水ノ便ナル所ヲ選ムベシ、全所ニ他種類ノ苗代ヲ作ル場合ニハ採種田ノ苗代ハ水上ニ設ケ、其水入口ニハ金鋼ヲ張ル等地方ニ應ジ適當ナル方法ヲ講ジ他種ノ流入ヲ防グヲ要ス、苗代ハ短冊形トシ、播種スル片ハヨク注意シテ他ノ稻種子トノ混リヲ避ケ一坪ニ浸水前ノ種粒四合乃至五合ノ割合ニテ播下スベシ、而シテ播種期ハ可成早キヲ良シトス

採種田苗代ノ肥料ハ普通苗代ヨリモ加里及ビ磷酸分ヲ含ム草木灰、過磷酸石灰ノ類ヲ多ク施コスベシ

六、苗代ノ管理

苗代ノ灌水ハ播種當時ハ淺クシ、日中ハ時々水ヲ排除シ、降雨又ハ寒冷ノ日、夜間等ハ水ヲ稍深ク湛へ苗ノ生長スルニ從ヒテモ灌排水ニ注意シ苗ヲ強剛ニ生育セシメシコトヲ期スベシ

七、採種地ノ撰定

採種田ハ日當リ風通良ク、灌排水ノ便利ナル土地ヲ撰ブベシ、瘠薄ナル土地ニ生産セル種子ノ不良ナルハ勿論ナリト雖モ地味ノ肥沃ニ過グルモ亦結實不十分ナルノミナラズ品種ノ特性ヲ變化セシムル害アルヲ以テ耕土ノ深キ地味中等ノ土地ヲ採用スベシ、地方中等ノ土地ニ於テ施肥量ヲ減ジテ栽培シタル種子ハ中等以下ノ土地ニ施肥量ヲ増加シテ栽培シタル種子ニ比シ充實佳良ニシテ生産力ヲ増加ス

八、本田ノ肥料

肥料ノ如何ハ種子ノ品質ニ影響ヲ及ボスコト至大ニシテ殊ニ病害虫ト密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ採種地ニアリテハ十二分ノ考慮ヲ拂ハザルベカラズ、而シテ地方土質ニヨツテ一定ナラザルモ堆肥ヲ基本肥料トシ大豆粕、菜種粕、魚肥、草木灰、過燐酸石灰ノ如キモノヲ適當ニ配合シ、一反歩ニ付窒素普通一貫五百匁トシ多肥ヲ要スル場合ニ於テモ二貫五百匁ヲ超過スベカラズ、燐酸及ビ加里ハ各一貫五百匁内外トスベシ、要ハ從來ノ經驗ニ鑑ミ燐酸及ビ加里分ヲ多ク與ヘ强健ナル成育ヲ遂グル様地方ニヨリ適宜斟酌スベシ

九、追肥

年ノ氣候ニ依リ肥料分解ノ遲速、吸収ノ難易及ビ稻ノ生育狀態等異ナルヲ以テ若シ追肥ヲナス場合ニハ克ク注意シ臨機ノ處理ヲ要スルモ普通ニ番除草（土用入十日前頃マデニ）頃ニ施コスベシ、要之追肥ハ成ルベク避クベシ

一〇、插秧

插秧ハ各地方ニ於ケル適期（可成早キガ良シ）ニ他種類ノ苗ト混合セザル様特ニ注意シ、高田早稻ハ一坪ニ對シ四十九株乃至七十二株一株五六本以内、石臼、中生高宮及ビ二本三ハ四十二株乃至四十九株一株三四本ノ範圍ニ於テ可成的淺植トスベシ

一一、灌水

插秧後數日間ハ可成灌水ヲ淺クシ其後ト雖モ深ク水ヲ灌グハ宜シカラズ、又除草毎ニ灌水ノ切レタル儘田圃ヲ陽光ニ當テ後灌水シ可成苗ヲ強剛ニ生育セシムベシ、出穗期ニハ灌水ヲ稍深クシ開花ニ週間後ハ落水乾燥ヲ圖ルヲ要ス

一二、除草

除草ハ四回ヲ標準トシ、插秧後大約十五日目毎ニ之ヲ行ヒ、八月上旬頃迄ニ終ルヲ要ス、特ニ除草ノ際ニハ稗ノ除去ニ努ムベシ

一三、混リ穗拔キ

出穂當時ニハ二三回採種地ヲ踏査シ原種ノ特性ニ注意シ混リ穂、變種、稗等ヲ限ナク拔キ取ルベシ、之ノ際注意スベキハ高田早稻ハ遅レ穂又ハ男苗生シ易ク、中生高宮ハ粃先赤色ヲ呈スルモノ、二本三ハ桃色ノ芒發生シ勝チナルヲ以テ能ク注意シテ此等ヲ除去セザルベカラズ

一四、病 虫 害

常ニ病虫害ノ發生ニ留意シ之レガ豫防驅除ニ勉ムベシ

一五、刈 取

穂ノ黃變セル時期ヨリ穂首ノ黄色ヲ呈スルニ至ル期間ヲ刈取りノ適期トス、刈取りタル稻ハ稻架ニカケ能ク乾燥スベシ

一六、調 製

調製ノ際ハ稻扱、蒭、篩、唐箕等其他ノ器具ヲ十分ニ検査シ他種ノ混合ヲ防グベシ調製濟ミノモノハ遺憾ナク俵裝シ郡市内ニ於ケル栽培用種子トシテ大切ニ保存シ郡

農會ノ指揮ヲ受クベシ

以上要之ヌルニ採種田擔當者ハ絶對ニ他ノ種類ノ混合ヲ避ケ、且ツ收量ノ多キヲ望マズシテ純良ナル種子ノ生産ニ努ムベシ、是レ普通模範田擔當者ト趣キヲ異ニセザルベカラザル所ナリ

一七、原種特性表 其一

成熟早晚	草丈	分蘗多少	葉色	出穂期			
高田早稻	早	短	多	強、細	綠	八月上中旬	出穂期 整、否
石 白	中	中	多	強、細	綠	八月下旬	稍不整
中生高宮	中	稍長	中	強、太	稍濃綠	八月下旬	整
二本三	中晚	短	多	強、中	綠	八月末	稍不整

一八、原種特性表 其二

穗長短	芒ノ有無	出穂期	収花時	収花時	収穂期	其他特性
穗長短	有無	期芒色	時芒色	収花時	収穂期	其他特性

高田早稻	短	—	—	—	黃	九月中下旬	<small>細短芒ノ出ズルアリ 概先ニハ目アリ 芒ノ短カキモノチ發 生スルコトアリ</small>
石白	短	—	—	—	淡綠	十月上旬	
中生高宮	短	—	—	—	淡褐	十月上旬	
二本三	短	長	白	淡褐	淡綠	十月中下旬	

八

一九、原種育成規程

第一條 稻採種出規程ニ依ル稻原種ハ本規程ニ依リ育成採種スルモノトス
 第二條 本縣稻原種ハ高田早稻(チンヨ)石白中生高宮(久助ヲモ含ム)二本三ノ四種トス

但二本三ハ潜水地口ニ限ル

第三條 前條ノ原種ニ變ルモノ若クハ風土作業ノ關係上前條ノ原種ヨリ利アリト認ムルモノアルトキハ本場ニ於テ三ヶ年以上之ガ試験ヲ行ヒタル後原種ニ選定ス
 第四條 新ニ原種ヲ選定シタルトキハ舊原種ハ之ヲ廢止スルコトアルベシ

第五條 原種ヲシテ永久ニ變化ナカラシムルト種子交換ノ目的トヲ達センガ爲メ原種田及原々種田ヲ設置ス

第六條 原々種田ハ之ヲ富山縣東礪波郡ニ設置シ原種田ハ之ヲ縣内適當ノ地ニ設置ス

第七條 原々種田ヨリ採種シタルモノハ之ヲ原種田ノ種子トス

第八條 原々種田ニ用ユベキ種子ハ原種田内ノ特設區ヨリ本場技術員ヲシテ拔穂及一粒選ヲ行ハシム

前項ノ拔穂ハ必ズ親穂ヨリ選出スルモノトス

第九條 前條特設區ノ種子ハ原々種田ヨリ本場技術員ヲシテ拔穂及一粒選ヲ行ハシム

前項ノ拔穂ハ必ズ仔穂ヨリ選出スルモノトス

第十條 新ニ原種ヲ選定シタルトキハ先ツ之ヲ原種田内ノ特設區ニ於テ採種スルモ

九

ノトス

第十一條 原々種及原種栽培擔當人並ニ監督囑託人ニハ報酬又ハ手當ヲ給スルコトアルベシ

第十二條 原々種及原種ハ適當ノ評價ヲナシ之ヲ買收スルモノトス

第十三條 原々種及原種栽培擔當人ハ本場指定ノ栽培法ヲ行ヒ且採種上必要ナル命令ヲ遵守スベシ

第十四條 原々種及原種ノ栽培及採種ノ費用ハ總テ擔當人ノ負擔トス

但本場ノ命令ニ依リ特ニ要シタル費用ハ此限リニアラズ

第十五條 原々種及原種田ニ病蟲害發生ノ虞アルトキ又ハ不慮ノ災害ニ罹リタルトキハ擔當人ハ遲滯ナク之ヲ本場ニ急報スベシ

第十六條 原々種及原種栽培擔當人ノ怠慢ニ依リ適當ト認ムル種子ヲ收穫シ得ザルトキ又ハ本場ノ指揮命令ニ従ハザルトキハ第十一條ノ手當又ハ報酬ヲ廢止シ若ク

ハ減額シ及第十二條ノ買收ヲ爲サルコトアルベシ

二〇、採種田規程

(新潟縣令第四十四號明治四十三年七月八日發布)

第一條 本場ハ稻種類ノ統一ヲ圖ル爲原種ノ栽培ヲ爲シ之ヲ郡市農會ニ配布シ本場指定ノ採種田ニ栽培増殖シ更ニ廣ク之ヲ當業者ニ配付セシムルモノトス

第二條 指定ノ採種田ハ其栽培採種等ニ關シ凡テ本場ノ指揮監督ヲ受クルモノトス

第三條 本場指定ノ採種田反別ハ其郡市ノ田反別ニ應シテ之ヲ豫定シ毎年八月末日迄ニ之ヲ郡市農會ニ通知ス

前項ノ通知ヲ受ケタル郡市農會ハ其年十月末日迄ニ其採種田ノ位置擔當人及採種スヘキ種類ノ各反別ヲ定メ本場ニ報告スヘシ

第四條 前條ノ報告ニ依リ本場ハ更ニ調査ヲ爲シ翌年二月末日迄ニ之レカ指定ヲナスヘシ

第五條 前條指定ノ採種田ニ對シテハ其反別ニ應シ郡市農會ニ補助金ヲ交付ス

第六條 指定採種田ヨリ收穫シタル種籽ハ其郡市内農業者ノ採種用トシテ左ノ各號

ニ依リ配付スヘシ

一、指定採種田ハ一反歩ヨリ貳石以上ノ配付ヲ爲スヘキコト

二、指定採種田一反歩ニ付貳石迄ハ玄米ニ換算シ時價若クハ時價以下ニテ配付ヲ

爲スヘキコト

三、被配付者ノ耕作反別一反歩ニ對シニ合以上ノ配付ヲ爲サ、ルコト

第七條 前條ノ配付ヲ終リタルトキハ第一號書式ニ依リ翌年二月末日迄ニ配付濟報

告書ヲ本場ニ提出スヘシ

第八條 指定採種田ヨリ收穫シタル種籽ニシテ第六條ノ配付ヲ爲スコト能ハサル場

合ニ於テハ其事由ヲ具シ本場ノ承認ヲ愛クヘシ

第九條 本場直營ノ原種田ヨリ收穫シタル種籽ノ殘餘ハ左記各號ノ順序ニ依リ無償

配付ヲ爲スモノトス

一、本縣内ニ於ケル縣郡市町村立農學校郡市町村農事試驗場及之レニ準スヘキモ

二、郡市農會ノ監督ヲ愛ケ本場指定ノ採種田ニ準シタル採種田ヲ經營スルモノ

三、縣内ニアリテ農業ヲ經營スルモノ

第十條 前條第一號及第三號ノ配付數量ハ一種五合以内トシ第二號ノ配付數量ハ其採種田反別一反歩ニ付五升以内トス

第十一條 第九條第一號及第三號ノ配付ヲ受ケタルモノハ第二號書式ニ依リ其試作

成績ヲ其年十二月末日迄ニ第二號ノ配付ヲ受ケタルモノハ第三號書式ニ依リ配付

濟報告書ヲ翌年二月末日迄ニ本場ニ提出スヘシ

第十三條 指定採種田經營者ニシテ本規程ニ違背シタルトキハ其採種田ニ對スル補

助金ノ交付ヲ取消シ又ハ減額ヲ爲スコトアルヘシ

付 則

第十四條 本規程ハ明治四十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 明治四十三年ニ於テ設置シタル指定ノ採種田ニ對シテハ明治四十三年度

ニ限リ新潟縣農會所定ノ採種田設置規程ニ依リ之ヲ取扱フモノトス
第一號書式

配付濟報告書

一、何 村(町)採種田

相當人 何

某

一、原種名

反 別

總配付數量

被配付者總人員及其耕作總反別

一反步當二合以內配付數量人員及其耕作反別

一、原種名

、
、
、
、
、
、
、
、
、
、

右之通り配付濟ニ付及報告候也

明治四十年 月 日

何郡(市)農會長

何

某

新潟縣農事試驗場長宛

第二號書式

試作報告

種類名

栽培反別
收量(反當)

耕種梗概(縣試驗場成績報告耕種梗概ニ準シ記載スルコト)

成育ノ狀況

病虫害

將來ノ見込

右及報告候也

明治四十年 月 日

何郡(市)何村 何

某

新潟縣農事試驗場長宛

第三號書式

配付濟報告

種類

栽培反別

配付數量

配付人員數

右及報告候也

明治四十年 月 日

何郡(市)何村 何

某

新潟縣農事試驗場長宛

272
518

明治四十五年三月一日印刷
明治四十五年三月五日發行

新潟縣農事試驗場

新潟縣長岡市今朝白町

印刷者 內田 丈一郎

長岡市觀光院町

印刷所 長岡活版印刷所

長岡市吳服町

